

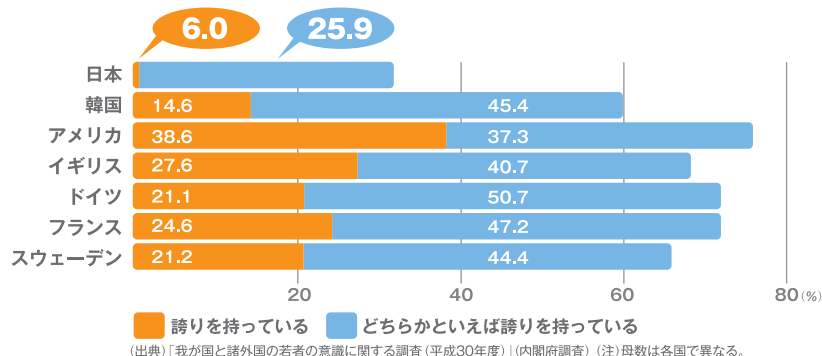
型通りの美を追い求めて…

みなさんの考える「美しい人」とはどんなイメージですか。若くて人気のアイドルや俳優を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。多くのメディアが、「美しさこそ正義である」という価値観に流れがちで、「美しさ」には絶対的な価値があり、美を追求することは正しいことであると主張する傾向にあります。

美しさの呪縛

男性優位の社会では、女性は那人自身の知性や能力ではなく、表面的な美しさや若さにこそ価値があると考えられがちです。男性は学歴や社会的地位で語られる一方、女性は若くて可愛いだけでよしとされる、いわゆる「ダブル・スタンダード」が日本社会に根強く存在しています。そのため、とりわけ女性たちが美しさを追求することは当たり前のこととされ、どこまでも美しくなることを求められます。身近になっている美容整形、エステ、脱毛、ダイエットサプリなど、美しくなるための手段や方法は際限なく存在し、美容市場は拡大し続けています。

容姿に自信のない日本の若者たち



7カ国の満13歳から満29歳までの男女に行なった内閣府の調査「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成30年度)」では、「自分の容姿に誇りを持っている」と答えた人は日本ではわずか6%でした。各国に比べて、日本の若者たちの容姿に対する自信のなさは、突出しています。



日本は、他人と考え方や意見が同じであることが歓迎される同調圧力の強い傾向があります。こうした社会では、多様な価値観が認められにくくなっています。一定の美の基準を設けてしまうと、そこから外れてしまった人たちはブサイクと分類されて、よりルッキズムに苦しむことになってしまいます。「みんなと同じように可愛く(かっこよく)なければ自分には価値がない」と思い込んで、過度のダイエットや美容整形をするなどして自らを追い込んでしまう若者もいます。

あるがままの自分

誰一人として全く同じ外見の人はいません。誰もが固有の形を持っていて、唯一無二の存在なのです。しかし外見重視の現代社会では、他人の目が気になるし、美容情報に惑わされることも多いです。世間一般で言われる美しさから多少ズレていても、これでよし!と思える「自分なりの軸」を持ちたいですね。

* * *

SNSを始めとしたメディアの在り方を見直すことも重要です。画一的な美のイメージを発信するのではなく、多様な顔立ちの美しさや年齢、民族性を描くことが必要です。また、メディアはあくまで人の手によって作りあげられた世界ということを理解した上で付き合っていくようにしなければなりません。メディア・リテラシーの力を養うことが大切です。

* * *

他人から外見を馬鹿にされたら、悲しくて悔しくて理不尽な気持ちを感じるでしょう。職場など公の場で、人の容姿をほめることも含めて話題にすることはセクシュアル・ハラスメントであり、人権意識が低いといえます。心無い言葉を受け取る必要はありません。あなたにとって心安らげる人がそばにいれば、その人たちを大事にしましょう。

**自分のすべてを
肯定的に受け止めることは難しいけれど、
「まあそこそこイケてる。」って思えたら、
素敵ですよ。**

